

2. 北方領土体験学習を経験した生徒へのアンケート調査結果

(1) 調査対象校の概要

① 学校概要・北方領土学習の概要

アンケート調査の対象とした高校の主な概要は以下のとおりである。

同校では、修学旅行全体の事前学習として12～13時間を使用しており、その中で北方領土問題には5時間程度を割いている。具体的には、夏休みにグループで自由にテーマを選んで調べ学習を行っており、その際に使用する資料は基本的に独自で収集しており、一部、北方領土隣接地域の地方自治体から提供を受けている。

所在地	近畿地域	生徒数	1,143名
教職員数	90名	設置課程	全日制課程

出典：対象高校のHP

② 修学旅行における北方領土隣接地域への訪問実績

同校では、平成4年以降は毎年、北方領土問題をテーマの一つに掲げ、修学旅行で道東地域を訪れている。きっかけは平成4年当時、北方領土問題に関心の高い教員がいたためである。

修学旅行の第一目的は観光、その他に平和問題の学習も目的となっている。出発地と道東地域間の移動は3グループでの分便であるが、道東地域での活動は学年単位である。北方領土問題をテーマとした参加・体験型学習の内容は、元島民等による講話や北方領土の望見が基本となっている。今年度の修学旅行の行程は、以下のとおりである。

